

報道関係各位

2016年4月12日

第9回 国際アビリンピック「データベース(基礎)」で 大東コーポレートサービス 遠藤隼さんが銅賞・特別賞を受賞

大東建託グループの大東コーポレートサービス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：酒井浩一）の社員、遠藤隼（えんどうしゅん）さんが3月26日にフランス・ボルドーで行われた第9回 国際アビリンピックのデータベース（基礎）種目において銅賞、ならびに特別賞を受賞しましたのでお知らせします。

■ 国際アビリンピック概要

国際アビリンピックとは、障害のある方々が日頃培った技能を互いに競い合い、その職業能力の向上や、企業や社会一般への理解と認識の深化、そして国際親善などを目的として、概ね4年ごとに世界の各都市で、開催されている大会です。日本は前回の第8回大会までに438人の職業技能競技選手等を派遣しています。

今回の第9回国際アビリンピックは、全48種目に日本を含めた35カ国・地域の選手511名が参加して行われました（日本人選手は17種目、31名）。

■ 楽しみながら技術を磨いた遠藤さん

この度、データベース（基礎）種目において銅賞・特別賞を受賞した遠藤隼さんは、大東建託グループの大東コーポレートサービスに勤務する社員です。小学校の頃よりタイピングを始め、高校2年生のときには第33回全国障害者技能競技大会において日本一となりました。遠藤さんは漢字変換を含め10分間に1200文字以上を入力する技術を持っています。



【遠藤さんのコメント】

まずはデータベース基礎の種目で銅メダルを獲れたのがうれしかったです。
更にうれしかったのが、特別賞を獲れたことです。
私も予想外だったので思わずガッツポーズをしてみました。
このダブル受賞を獲れたのがうれしかったです。

以上

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
和賀・山口
TEL (03)6718-9174